

メンバー紹介

合田 直哉

副理事長 (JC歴/8年目)

勤務先 ▶ ㈱ゴウダ

◎㈱ゴウダについて教えてください

▲ゴウダでは主に木製のベッドを製造しています。創業から50年以上の実績があり、発注元企業様の名義やブランドで製品を製造するOEMも手掛けています。

ベッド以外にもイベントや展示会場などで目にする棚やパネルなどの製造、また別注家具として机や下駄箱、収納棚などをフルオーダーで作ることも可能です。

◎合田さんにとって㈱ゴウダとは?

▲家業を継ぐため25歳で入社、原材料選びから生産まで様々な工程を9年ほど学びました。幼い頃は何をしているか分からなかった作業も、社員の皆さんから丁寧に指導してもらいながら働くことで理解を深め、連帯感も生まれています。

また、仕事とは別に、庄原青年会議所などの団体にも所属させてもらっています。地域活動に参加することで地元の方との繋がりや会社での自身の在り方などを学ぶ機会を与えてもらい感謝しています。



みなさんの睡眠を支えています!

㈱ゴウダ社屋と社用トラック

実績や誇りに
思うこと

木製ベッドの製造企業として50年以上の実績があり、全国で多くのお客様にご使用いただいています。これまでの事業で培った技術を継承しながら、これからもお客様に満足のいく製品を供給できるよう頑張っていきます。



シンセイアート㈱社屋

庄原のクリエイティブはお任せください!

実績や誇りに
思うこと

私自身に実績はありませんが、シンセイアート㈱の社員のみんなが私と一緒に働いてくれることが一番の誇りです。会社一丸となって地域に寄り添える会社になれるよう頑張ります。

塩本 一平

出向理事 (JC歴/4年目)

勤務先 ▶ シンセイアート㈱

◎シンセイアート㈱について教えてください

▲シンセイアート㈱は情報を正確に分かりやすく伝える会社です (※印刷会社ですが印刷するだけではありません(笑))。これまでは紙媒体の広告やDM、イベントなどで使用されるポスターなどが主な取扱商品でしたが、時代の流れとともに紙に刷るだけでなく、オリジナルTシャツの作成やホームページ、SNSなど、お客様の求める情報伝達のニーズに合わせた商品を取り扱っています。

◎塩本さんにとってシンセイアート㈱とは?

▲新しいことに挑戦させてくれる場所です。今私たちの業界はすさまじい速さで変化しています。必要なもの、必要でないものを精査し、新しいものにチャレンジしています。その中で社員にも迷惑をかけることもありますが、会社全員で新しいことに挑戦できることは自分自身の励みにもなり日々の活力になっています。

挑戦や経験を積みたい方大歓迎!!

一般社団法人

入会資格/満20歳以上40歳未満

庄原青年会議所 会員募集中

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 商工会議所内

MAIL/sjci@mx4.tiki.ne.jp FAX/0824-72-9116



ホームページ



facebook



Instagram

編集後記

総務広報推進委員会委員長

土井 裕貴

今回は、庄原青年会議所入会8年目の合田副理事長と入会4年目の塩本出向理事をご紹介します。

主にベッドを製造する会社と、情報をよりよい方法で伝える会社とでは一見全く違う仕事に思えますが、お客様のことを考え、より良いものを作製していくという部分で共通している所があるなと感じました。仕事に向き合う真剣な考え、職場を思う気持ちをお聞きすることが出来たので、是非ご一読ください。

『LIGHT』には、“まだ見えない光を求めて限界突破”の「光」と「JCI会員にもスポットライトが当たるように」の2つの意味が込められています。



2024年度 7月度例会事業 『LIFE ~命を見つめる時間~』 担当/土井 裕貴 総務広報推進委員会委員長

7月28日(日)、庄原市民会館大ホールにて7月度例会事業「LIFE ~命を見つめる時間~」を開催しました。ありがたいことに、庄原市社会福祉協議会との共催ならびに58の企業・団体・個人の方から多くの協賛をいただくことができました。



NPO法人『あなたのいばしょ』理事長の大空幸星氏を講師としてお招きし、“生きることの大切さ”について講演していただきました。NPO法人『あなたのいばしょ』の相談口での内容や実情、ご自身の経験談を交えながら今悩んでいる人に対するアプローチの方法などを語っていただきました。

会場には、現状悩んでいる方、身近に悩んでいる人、今の生活に悩みはないけれど聞いてみたい方など約350名が参加され、その1人ひとりが“命”に対して真摯に向き合っておられる様子でした。

あらためて今回の事業では、“生きることの大切さ”だけでなく“命の大切さ”も強く感じることができました。ここで感じた思いが一人でも多くの方に伝わっていき、少しでも誰もが生きていきやすい世の中になっていくよう切に願っています。



2024年度 8月度例会事業 『未来のわたしへ贈り物』 担当/稲富 英樹 輝く青少年確心委員会委員長



8月15日(日)、庄原グランドホテルで「未来のわたしへ贈り物~再会~」を開催しました。本事業は、2014年に庄原青年会議所が主催した「未来のわたしへ贈り物~新生庄原市と伴に~」という事業で子どもたちが埋めたタイムカプセルを、10年ぶりに開封するというものです。

今回、153名の方にご参加いただき、当時小学4年生だった子どもたちも今では20歳の立派な成人に成長されていました。事業では、参加いただいた皆さんの当時の担任の先生にサプライズで登場していただいたり、庄原市の現状を知ってもらうため(一社)庄原観光推進機構の観光ポスターの展示を行いました。

参加者の方々と地元の話題で盛り上がることができ、庄原の明

る未来を感じさせる事業となりました。

また、今回、当時携わられた庄原青年会議所の先輩方にも事業へご参加いただきました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

